

「VICTORY！」は、『湘南ベルマーレ』というJリーグクラブのホームタウンに住むみなさんに、サッカーを通じてより多くの人とふれあい、地域への思いを深め、スポーツの楽しさを体感していただきたい。そんな願いを込めてASAがお届けする情報紙です。

企画・制作 / 株式会社 朝日新聞経営研究センター 協力 / 株式会社 湘南ベルマーレ



## たったひとつのポストを掴むために

今季のベルマーレのゴールキーパーは3人。それぞれに強さをもった3人が一つのポジションをめぐるしのぎを削っている。開幕戦から第5節までゴールマウスを守った阿部選手は言う。「みんなサッカーに真摯に向き合っている素晴らしい仲間。だから試合にでられないときでも、チームのためにできることを何でもしたいと思えるんです」。(インタビューは2012年4月12日に実施)

### 阿部 伸行 (あべ のぶゆき) GK No.27 Profile

1984年4月27日生 (27歳) 東京都東大和市出身 186cm/80kg  
FC東京 U-18 - 流通経済大 - FC東京 (2007) - 湘南ベルマーレ (2011)

### ゴールキーパーの仕事

相手のシュートを止めること。もちろんそれがゴールキーパー (GK) の一番大事な仕事だけれど、それだけじゃない。味方がいい状態で攻めているとき、試合を支配しているときでも、どれだけ集中して守備の準備ができていけるか。それも重要なことです。

今の試合の状況をしっかり見て、このあとどんなピンチが予測されるか、そのためにディフェンス (DF) や僕がどんなポジションをとった方がいいのか、試合中はそれを考えています。たとえば、今季のベルマーレは相手陣内 (相手ゴールのあるサイド: 前) でプレーをするという意識があるので、そっちに選手が上がっている分、自陣には大きなスペースができます。相手がボールを持ったときに、そのスペースを狙ってボールを蹴ってくる。そのボールを相手選手が拾うとたちまちピンチになります。その対応策として、まず GK である僕のファーストポジションです。ボールの行方を見ながら、前後・左右のスペースをうまく埋めながら動いて、ポジショニングをする (空きスペースを大きく見せない) こと。もうひとつはボールの状況ですぐにスタートを切れること。GK が前に出ると、観ている人は『危なっかしい』と感じてしまいますよね。それをいかに安心感をもって観てもらえるか、そこが大切だと思うんです。

### 練習の100本、試合の1本

僕が目指すのは『存在感のある GK』。安心して観てもらえること。ここってピンチのときにはしっかり1本止められること。あとは元気とガッツ。元気とガッツのあるプレーができれば何事もポジティブにゲームを運べると思います。

理想とする GK に近づくには、反復練習しかないです。試合を意識し緊張感をもった反復練習。「質」という部分では何回も繰り返してやらないとうまくならない。ゴールキックを蹴る

こと、シュートを止めること、ポジションの取り方。でも練習でひたすら100本蹴るより、試合の中で蹴る1本のほうが「経験値」は上がるんです。練習で質を高め、試合で経験値を上げることが必要だと思っています。

### 真摯にサッカーに取り組む仲間たち

たしかに GK というポストはひとつしかない。だからこそシンプルでわかりやすいんです。その試合を前に一番状態のいい選手がスタメンに選ばれ、次の選手がサブに入り、そのほかの選手はバックアップメンバーになる。それだけです。フィールドプレーヤーだったら、センターバックの選手がボランチになるとか、複数のポジションをこなせると試合に出場するチャンスは増えるかもしれない。でも GK は、そういうことがない。良ければ出られるし、良くなければ出られない。それでいいんです。僕はそれがいいんです。

チームメイトの2人の GK (No.1/金永基・No.21/松本拓也) のことは、尊敬しています。何事にも真摯に取り組む姿は、本当にすごいと思う。ヨンギさん (金永基) は、すべてを包み込むようなオーラがあります。人間性の素晴らしい人だから、みんなから信頼されているし、相手に安心感を与えられる。そんな人間性がにじみ出たオーラがすごいです。

松本 (拓也) の特長は、底抜けの明るさ。人間だから浮き沈みもあるだろうけれど、どんなときでも明るい。それは彼の人に対する優しさなんだと思う。身体能力が高く、技術もある。僕に無いものをたくさん持っている選手です。10代のときから代表に選ばれているのもうなずけます。

でもこのチームは GK に限らずどの選手もサッカーに対して真面目に取り組んでいる。いろいろな状況、立場、気持ちの中で全員が全員、っていうチームはあんまりないんじゃないかな。

### 走り負けしない今季のベルマーレ

試合中にね、薫 (高山薫) が2人いるんじゃないかと思うことがあるんです。さっきまで相手のゴール前にいたやつが、次の瞬間には GK である自分の前でプレーしている。あいつの運動量は群を抜いています。コバショウ (古林将太) もそうだけれど、両サイドの選手はとにかくよく走っています。

応援してくれる人たちは、これだけ運動量の多いハードな試合を続けていけるのか、暑い夏場は大丈夫なのか、と心配しているかもしれません。そのカギは、今やっていることを信じて最後までやりきれるか、だと思います。今、みんなが最後まで走れているのは、それだけの厳しい練習をやってきたからという自負があるから。ここまでは、それが良い結果につながってきたけれど、うまく回らなくなったときに「グラウンドであれだけの厳しい練習を積んできたんだ。間違っていない」という自信を持ち続けて戦ってきたい。

自分がゴールマウスに立っているとき「絶対にゴールを割らせない」と思えるのは、十分なトレーニングをしてきているからです。一日一日、気持ちを込めた活気のある練習をする。それが自信になって、試合でいい結果に結びつく。もちろん、いつまでも勝ち続けられるような甘いリーグではないけれど、それでも信じて走り続ける。このチームならできるはずですよ。



## 7勝1分、首位独走!

湘南ベルマーレの快進撃が続いている。4月15日に行われたJ2リーグ第8節の横浜FC戦「神奈川ダービー」でも3-2で勝利。8戦負けなしで首位を守った。開幕から一貫した「攻撃サッカー」は、衰えをみせない。力強い前への推進力で、攻撃はもちろん守備の局面でも高い位置から積極的にプレスをかける。若さにあふれたスピーディで力強いプレーは観ていると、とにかく楽しい。これこそ「ベルマーレのサッカー」。スタジアムは歓声と興奮と感動でつつまれている。



5月13日は、「寒川町民デー」。寒川町在住・在勤・在学の方には特別優待価格の「市民・町民割」チケット (大人自由席1,500円) をご購入いただけます。写真は県立寒川高校出身の鎌田翔雅選手 (2008年卒業)。「高校時代はベルマーレのユースチームに所属していたので、先生がサッカーのこともよく理解してくれて、修学旅行も遅れて参加した思い出があります。先生には今でも応援してもらっています」。唯一の寒高出身Jリーガーです。



横浜FC戦で先取点を決めた馬場選手 (右から2人目)。チームトップタイ記録の4点目になる。攻守にわたって献身的な走りやチームをけん引し勝利に大きく貢献している。

### ●ホームゲーム試合日程 ※会場はすべて Shonan BMW スタジアム平塚 (旧名称: 平塚競技場)

節	開催日	キックオフ	対戦相手	チケット
10	4月27日 (金)	19:00	水戸ホーリーホック	発売中
12	5月3日 (木・祝)	18:30	ヴァンフォーレ甲府	発売中
14	5月13日 (日)	16:00	大分トリニータ	発売中
16	5月27日 (日)	16:00	徳島ヴォルティス	発売中
18	6月9日 (土)	16:00	カターレ富山	5月15日発売

### ●チケット

席種	会員前売	会員当日	一般前売	一般当日
自由席大人	¥2000	¥2500	¥2500	¥3000
自由席 (小・中・高・シニア) ※シニアは65歳以上の方	¥600	¥800	¥800	¥1000

※チケットはチケットぴあ、コンビニなどでお求めいただけます。  
※ベルマーレ12会員についてはベルマーレ公式サイトをご覧ください。